

各位

2023年6月26日
会社名 のむら産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 清川悦男
(コード番号：7131 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 西澤賢治
(TEL 042-497-6191)

2023年10月期 第2四半期 決算補足資料

この質疑応答集は、2023年6月9日に発表いたしました2023年10月期 第2四半期 決算について、発表以降に株主、投資家などの方々から頂いたお問い合わせ、感想についてその内容と回答について、以下の通りお知らせいたします。

Q1 | 第2Q（累計）で、前年同期比約14%増収。利益面でも、減益計画から一転し、営業利益は約30%増益、期初計画に対しては、約70%の上振れと業績好調ですが、その要因を教えてください。

A | 増収要因は、包装関連事業、物流梱包事業ともにコロナに係る行動制限緩和により、回復基調にある需要を的確に捉えたことに加え、包装機械において、部品不足の解消により、受注、納品が順調に推移したこと、物流梱包においてはサステナブル関連の需要に応えた製品の販売に注力したことなどが主な要因です。また利益面においては、増収効果に加え、今期の業績計画作成時よりも円高で推移していることや、様々なコストダウンに注力した結果、計画よりも大きく上振れとなりました。

Q2 | 第2Q（累計）の業績予想は、上方修正されましたが、通期業績予想は据え置いております。下期の見通しを教えてください。

A | 通期業績については、為替が円安に振れた場合や、各種コストの上昇の可能性もありますので、通期業績予想は据え置いております。

Q3 | 下期の展望について教えてください。

A | 当社の業績には季節性があり、例年、第3Qは売上が積み上がりにくい一方、米の収穫期である第4Qは、売上が積上がります。すでに受注は堅調に進んでおりますが、上期の好調な営業活動をさらに推し進め、既存顧客、新規顧客ともに販売を強化してまいります。

Q4 | 中期経営計画の1年目となりますが、現状の進捗について、教えてください。

A | 2025年10月期を最終年度とする中期経営計画は、3つのポイントにおける重点施策を推進し、順調に進捗しております。コロナによる行動制限も緩和されたことにより、西日本市場の拡大、新市場の発掘、海外向けの販売についても、今後、より積極的な提案活動を行い、引き続き計画達成に向け、事業拡大に邁進いたします。